

各位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ B O X # 0 5 4 3

「プラザキサカプセル」の適正使用について

直接トロンビン阻害剤「プラザキサカプセル」（日本ベーリンガー）は、大部分が腎臓を介して排出されるため、腎機能が低下している患者では、本剤の血中濃度が上昇し**出血の危険性が増大**する恐れがあります。

本剤の投与を受けた**腎障害を有する高齢の患者**において、**出血性の副作用**が国内で40件（うち死亡1件）報告されたことから、特に以下の事項に注意してください。

【投与に際しての注意事項】

- ・ 本剤を使用する前に、**必ず患者の腎機能を確認**する
- ・ **透析患者を含む高度の腎障害**（Ccr：30mL/min未満）のある患者は**禁忌**
- ・ **中等度の腎障害**（Ccr：30-50mL/min）のある患者、P-糖蛋白阻害剤（経口剤）*を併用している患者、**高齢者**、消化管出血の既往を有する患者等の出血の危険性が高いと判断される患者では、**本剤1回110mg1日2回への減量**を考慮する
- ・ 重篤な副作用が報告された症例では、**ワーファリンから本剤への切り替え症例**が多く認められることから、ワーファリンからの切り換えの際には患者の状態等を十分観察する

*ワソラン、アンカロン、硫酸キニジン、プログラフ、グラセプター、ネオーラル、ノービア、カレトラ、ピラセプト、インビラーゼ等

【投与中の注意事項】

- ・ **重篤な出血性の副作用**は、本剤投与後**早期（約1週間以内）**に認められる症例が多いことから特に注意する

【患者への説明事項】

- ・ 患者に対して、**出血が続く等**の症状が見られた場合には、**直ちに主治医に連絡**するよう指導する

薬品名	プラザキサカプセル
成分名、規格	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩、75mg/錠、110mg/錠
適応症、用法用量	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制： 成人 1回150mg1日2回 経口投与 必要に応じて、 1回110mg1日2回 投与へ減量
オーダ	処方／共通

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。